

5. 婦人（女性）防火クラブ会長活動報告

平成18年度第1回防災講演会を開催

埼玉県 婦人防火クラブ連絡協議会・坂戸地区婦人防火クラブ
会長 新井明子

坂戸地区婦人防火クラブは、「家庭の防火は主婦の手で」をスローガンに家庭からの火災を一件でも少なくしようと、防火思想の向上のため精力的に活動しています。今回は平成18年度第1回防災講演会を開催、「地域の防火」と題した講話、住宅用火災警報器PRビデオの上映を行い会員の防火意識の更なる向上に努めました。

また坂戸市内37箇所の公共施設にAEDが設置されることに伴い、AEDの取扱い訓練も実施しました。応急処置の重要性を学び、万一救急現場に居合わせた時には必要な処置を行い少しでも救命率の向上に役立てればと思っております。



新井会長挨拶



講演会終了後通信司令室見学



AEDデモンストレーション

[▲ このページの上に戻る](#)

女性防災講座第1日目開催

愛知県 碧南市女性防火クラブ連絡協議会

碧南市女性防火クラブは7月10日、延べ4日間に亘る女性防災講座の第1日目を開催しました。

この講座は、平成元年に開催されてから毎年恒例となっており、第1日目は、衣浦東部広域連合碧南消防署併設施設の地震・台風・救助袋体験、消防自動車や消防庁舎内の見学、消火訓練、ハイゼックスによる非常炊出し。第2日目以降は、AED(自動体外式除細動器)の使用法を含めた普通救命講習、石炭火力では国内最大規模の中部電力碧南火力発電所の見学など盛りだくさんのメニューです。

この日は、愛知県婦人消防クラブの研修事業ということで、日本防火協会の梅次部長を始め県下市町のク

ラブ幹部の皆様にもご臨席賜り、総勢240人参加の盛大なものとなりました。開講式で永坂幸子会長が、「ひとりでも多くの人にAEDの使用法をマスターしてほしい。また、住宅用火災警報器の共同購入を行う。」と宣言した後、3班に分かれて防災体験に挑戦。地震体験では、震度7に皆真剣そのもの。救助袋体験でちょっとしたスリルも味わい、家庭から持ち寄った消火器を使って初期消火を習い、火のついたてんぷら鍋に水を掛けたときの火炎の勢いにビックリしました。

炊出しのカレーライスを食べ解散の予定でしたが、時間内に防災体験ができなかった大勢のクラブ員が帰らないでまだ残っています。急遽署員にお願いし、希望者全員に防災体験をしていただきました。

4日間の講座を通じ「自分の命は自分で守る」「愛する人の命を救う」「家庭から火を出さない」ことを再認識し、災害による被害を最小限にとどめたいと思います。



永坂会長挨拶



地震体験



救助袋体験



消火訓練

▲ [このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 消防庁人事](#)
- [2. 平成18年度婦人防火クラブによる新住宅防火対策の推進に関する調査研究会（第1回）](#)
- [3. 愛知県婦人消防クラブ連絡協議会「防災フェア2006 in なごや」展示ブースに出店](#)
- [4. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより](#)
- [5. 婦人（女性）防火クラブ会長活動報告](#)
- [6. 平成18年春の叙勲に係る齋藤榮子氏の祝賀会が開催されました](#)